

(案)

平成24年度 事業仕分け結果に対する取組方針（案）への

意見書

平成24年10月15日

安城市事業仕分け委員会

平成24年10月15日

安城市長 神 谷 学 様

安城市事業仕分け委員会

委員長	荒井	英明
副委員長	杉浦	光子
委員	小笠原	豊子
委員	加藤	勝美
委員	上向	宣明
委員	河合	宏人
委員	深津	茂樹
委員	横山	嘉宏

平成24年度事業仕分け結果に対する取組方針（案）への意見について、当委員会の意見は下記のとおりです。

記

安城市では、昨年度に続き2回目となる事業仕分けを7月21日、22日に実施されました。

事業仕分けは、大勢の市民が傍聴する公開の場で、税金が効率的効果的に使われているか、より市民の役に立つ使い方はないかという視点で議論をするものであります。

安城市におかれましては、事業の選定から、事業仕分けを実施した後、その結果をどう使うかというところまで、外部組織である当委員会ですまざまな議論、意見を申し上げるという方式を採用され、いわば最先端の手法だと評価しております。

また、仕分け当日は、市民判定人の皆様に議論を聞いていただき、判定をいただくという方式も取っており、これも事業仕分けの手法の中では非常に開かれた、市民参加型の方式だと考えております。

さらに、市民判定人及び仕分け人が事業への理解を深めるために、事前に対

象事業の施設見学を実施するなど新たな取組もされました。

当日の事業仕分けでは、参加された皆さんの真剣な視線を感じさせていただくことができ、安城市にとって意義深い議論が行われたと思っております。

この事業仕分けによりまして、行政と市民の距離が縮まることや、職員の資質が向上することなど、大きく期待されるところであります。

このたび、当委員会では、事業仕分けの対象事業を選定した立場から、また、外部の視点を有する立場から、「事業仕分け結果に対する取組方針（案）」に対して、取組方針の妥当性及び今後の取組の具体性等を公開の場で審議し、委員会としての意見を以下のとおり取りまとめました。

市では、この意見書の内容を踏まえ、事業の見直し、改善に積極的に取り組んでいただくとともに、事業仕分けの成果を活かしていただき、持続可能な行政経営が図られるようお願いいたします。

1 個別事業ごとの取組方針案に対する意見

事業番号 1-1,1-2	地域福祉センター建設事業、福祉の拠点づくり事業【社会福祉課】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・施設のあり方の視点、地域福祉事業の提供者のあり方という視点、指定管理者の公募の視点について、もう少しスピード感を持った具体性のある取組を示していただきたい。

事業番号2	ねたきり高齢者等支援事業【社会福祉課】
判定結果	要改善
取組の方向性	拡充
委員会の意見	・事業仕分け当日は、実態を把握するレベルから考え直すべきではないかという議論だったことから、もう一度原点に戻って、どのようなサービスが必要なのか、どこを拡充すべきか検討いただきたい。

事業番号 3	障害者通所支援事業【障害福祉課】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・もう少しスピード感を持って取り組んでいただきたい。 ・取組方針にももう少し具体的な記述をしていただきたい。

事業番号 4	プラネタリウム投映事業【生涯学習課】
判定結果	ゼロベースで見直し
取組の方向性	ゼロベースで見直し
委員会の意見	・e モニターなどによるアンケートなどの意見をもとに、外部の方を交えた検討委員会などにより存続の是非を検討いただきたい。

事業番号 5	体育館管理事業【スポーツ課】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・スピード感を持って対応していただきたい。 ・施設管理協会を始め、委託業務を見直すことによって、より適正な運営に配慮していただきたい。

事業番号 6	図書館資料貸出事業【中央図書館】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・本の選定も含めてボランティアが運営に加わる機会を増やすような取組をしていただきたい。 ・コスト感覚を持って取り組んでいただきたい。

事業番号 7	給食用物資事業【給食課】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・一般財源いわゆる税金を何に使うのか明確にするという視点で整理していただきたい。 ・地産地消の目標設定については、スピード感をもって取り組んでいただきたい。

事業番号 8-1,8-2	小学校情報化推進事業、中学校情報化推進事業【総務課】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・児童生徒を対象に情報教育を行うことと、教職員が校務で行うソフトは、明確に分けて議論すべきであり、児童生徒に関する内容について、スピード感を持って取り組んでいただきたい。

事業番号 9	教育センター施設管理事業【学校教育課】
判定結果	ゼロベースで見直し
取組の方向性	ゼロベースで見直し
委員会の意見	・教員の資質向上について、数字で表せないにしても、効果をアピールできるようなデータを整理していただきたい。 ・管理運営費のコスト削減について、方針を明確にしていきたい。

事業番号 10	受益者負担金前納報奨金交付事務【下水道管理課】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・一般財源（税金）から前納報償金を負担するのは適当であるという方向性ならば、論点に対し、取組方針の中で具体的に説明していただきたい。 ・前納報償金の金利について検討する場合に、市民アンケートによる手法が適当なのか疑義があり、別の方法も模索していただきたい。

事業番号 11	公園整備事業【公園緑地課】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・公園整備におけるコストに関する部分も明確にしていきたい。

事業番号 12	桜井施設整備事業【区画整理課】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・方針案により、取組を進めていただきたい。

事業番号 13	安城七夕まつり支援事業【商工課】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・七夕まつりの経済効果の測定について、毎年継続的に使えるような計算方法を明確にしていきたい。

事業番号 14	システム運用管理事業【情報システム課】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・取組にはスピード感を持っていただきたい。 ・内部事務であるからこそ、市民に調達方法やコストなどの情報を開示していただきたい。

事業番号 15	滞納整理事業【納税課・経営管理課】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・債権徴収について、全ての滞納者あるいは高額滞納者だけでもデータを一括管理するとか、段階的に導入するなどして、スピード感を持って対応していただきたい

事業番号 16	町内公民館活動支援事業【市民協働課】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・公民館活動支援事業についてどういう目的で補助金を出しているのかを明確にすべきであり、取組方針の中で説明いただきたい。

事業番号 17	資源リサイクル事業【ごみ減量推進室】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・報償金を出し続けることは安易だと思われるが、報償金がなくても多くの市民がごみを集める、ごみを減量するという目標に向けて、この事業がどのような効果をもたらすかを明確にしていきたい。

事業番号 18	ごみ減量化推進事業【ごみ減量推進室】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・スピード感を持って取り組んでいただきたい。

事業番号 19	児童クラブ事業【子育て支援課】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・児童クラブの建設費も含めると多額のコストがかかっていることを踏まえた取組方針としていただきたい。

事業番号 20	保育園事業【子ども課】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・保育料が国の基準よりも安い基準を採用していることから、受益者負担の適正化について再検討していただきたい。

事業番号 21	高額医療機器整備補助事業【健康推進課】
判定結果	ゼロベースで見直し
取組の方向性	改善
委員会の意見	・取組の方向性の「改善」は妥当である。 ・救急医療にどれだけの効果があったのか、市民へのアナウンスを検討していただきたい。

事業番号 22	道路施設維持管理事業【維持管理課】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・スピード感を持って取り組んでいただきたい。

事業番号 23	通学路整備事業【土木課】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・全体計画と整備スケジュールを整備し、市民にも示していただきたい。 ・スピード感を持って取り組んでいただきたい。

事業番号 24	市営住宅管理事業【建築課】
判定結果	要改善
取組の方向性	改善
委員会の意見	・民間賃貸住宅の活用について、改善の必要がないという判断ならば、もう少し丁寧に説明していただきたい。 ・滞納者や収入超過者への対応、維持管理コストの削減方法についても取組方針で整理していただきたい。

2 取組方針全般に対する意見

- (1) 全体的にスピード感を持って取り組んでいただきたい。
- (2) 中・長期的な見直しをするものについては、後年度においても具体的な成果、効果を検証されるよう、検証方法を明確にしておいていただきたい。